

中小企業地域資源  
活用促進法に基づく



東金市の  
ふるさと名物は  
これ!

千葉県東金市

が応援するふるさと名物

東金の植木

～伝統の技と心を後世に～

千葉県東金市

農政課 0475-50-1138





ふるさと名物  
Furusato Meibutsu

応援宣言

## 千葉県東金市

地域の  
プロフィール

東金市は、東京都心まで約50キロメートル、千葉県のほぼ中央部に位置しています。

人口は約6万人で温暖な気候に恵まれ、平野部は良質な田園地帯が太平洋に向かって広がり、丘陵部は山武杉の森林に覆われています。

古くは江戸時代、徳川家康の鷹狩りのために「御成街道」が造られたことにより、この地に宿場町と近隣の農産物が集まる問屋街とが形成されました。

以降、東金は物流の集散地としてにぎわうようになり、九十九里地域の中核都市として発展しました。

現在では、国道126号線と千葉東金有料道路、首都圏中央連絡自動車道（圏央道）をつなぐ交通の要衝となっており、市内にある「道の駅」みよりの郷東金は、県下最大級の植木売場面積を誇る「道の駅」として、県内外をはじめ、海外からのお客様にもお越しいただいております。



市の木 ラカンマキ  
東金市役所 庁舎正面

## ◆千葉の植木

千葉県は日本有数の植木の生産地であり、平成26年の出荷額は全国第1位となっています。その中でも東金市は主要な生産地です。

また、千葉県は、千葉の代表的な植木の一つである「マキ」を県の木として指定し、東金市は「マキ」類の中でも、葉が細く短く密集し、より美しいとされる「ラカンマキ」を市の木として指定しています。

「マキ」類は千葉県の生産者が持つ伝統的な造形技術を発揮できる樹種であり、日本庭園の主木（シンボルツリー）として利用されることも多く、中国では「羅漢松」と呼ばれ、幸せと繁栄をもたらす縁起物として大変人気のある木です。



# ふるさと名物の内容（東金の植木）

## ◆伝統的な技を活用した独自の造形技術

東金市の造形技術には、大正時代に東金で発祥したとされている「割り(くじき)」と呼ばれる技術(ノミを入れることで枝の形を整える技法)があり、現在も先輩から後輩へと受け継がれる伝統の技です。

## <これまでの実績>

千葉県の良い植木職人が認定される「植木伝統樹芸士」に12名の認定、同じく千葉県の伝統的な技術で仕立てられた植木を認定する「植木銘木100選」に14本の認定と、東金市の職人とその技術が高く評価されています。

また、千葉県植木共進会の最高賞である農林水産大臣賞を複数回受賞するなど、生産者の高い技術が証明されています。

## ◆海外輸出に対応した体制構築

「東金の植木」は、国内のみならず、中国をはじめとしたアジア圏、ドイツを中心としたヨーロッパ圏など、海外でも富裕層を中心に高く評価され、販売されています。また、植木の輸出では、検疫対策が懸案となっており、市内の生産者自身が実証試験への協力も積極的に行い、次代の生産者が取り組みやすい環境づくりに貢献しています。



伝統樹芸であるノミ入れ(くじき)



しだれ赤松(天目松)

千葉県植木共進会 農林水産大臣賞



キャラの鉢上げ  
輸出検疫対策実証試験への協力

# 東金市の取り組み

## ◆「東金市植木組合」の事務局として、植木生産者のサポート

東金市は、「東金市植木組合」の事務局として、市内植木生産者のとりまとめ等を行い、国際的な展示会への出展、海外市場調査などへ積極的に取り組める環境を積極的にサポートし、生産者と一丸となって植木産業の振興に取り組んでおります。

## ◆若い植木生産者の環境整備の積極支援

「東金の植木」を支える伝統樹芸伝承のため、若手生産者へ向けた講習会などの開催を積極的に支援しております。

また、東金市の「道の駅」である「みのりの郷東金」では、若手生産者を講師とした一般向けの「門松づくり教室」の開催や千葉県花き振興地域協議会が主催する「植木伝統樹芸技術実演会」への会場提供などを通じて、技術の伝承や研鑽、PRの場を提供しております。

## ◆「道の駅みのりの郷東金」による植木販売

「みのりの郷東金」では、県下最大級の植木売場面積を誇り、多種多様な植木を販売しております。季節ごとの販売イベント、「東金の植木」の情報発信、生産者と消費者の交流の拠点として、生産者と一体となり、積極的な販売活動を実施しております。



後継者への樹芸講習会



門松づくり教室の開催



「道の駅みのりの郷東金」・緑花木市場